

榛松中だより

～笑顔があふれる 学びと感動のある榛松中学校～

令和8年9月号

学校教育目標

知性と創造性に富む生徒
豊かな心と思いやりのある生徒
健康でたくましい生徒

川口市立榛松中学校

〒334-0062

埼玉県川口市榛松2丁目10番1号

電話 (048) 284-2414

※教育活動の向上のため、通話内容の録音対応をしております

「備える」ということ

校長 飯塚 稔

長い夏休みが終わり、いよいよ9月となりました。大きな事故の報告もなく、生徒たちが元気に2学期を迎えられたことを心から嬉しく思います。校舎に生徒たちの活気ある声が戻り、再会を喜ぶ笑顔に囲まれて、学校生活が本格的にスタートしました。

さて、今年の夏も、生徒たちはそれぞれの舞台で輝きを見せてくれました。学校総合体育大会の県大会では、男子バスケットボール部と女子ソフトテニス部のダブルスペアが粘り強く戦い、3回戦進出を果たしました。水泳部男子4×100mフリーリレーでは決勝進出を果たし、堂々の10位。ハンドボール部は男女ともに初戦敗退となりましたが、そこから得た悔しさを次のステップへと繋げています。また、吹奏楽部は、昨年に続き埼玉県吹奏楽コンクール南部地区大会Dの部で「金賞」を受賞、素晴らしいハーモニーを響かせました。こうした経験を糧に、今ほどの部も新チームが新たな目標へ歩み始めています。学校を代表する駅伝部も、市内駅伝大会に向けて練習に熱が入っています。他にも、5組の水上自然教室やサマースクールも実施しました。こうした夏休みのさまざまな経験が、2学期の大きな成長につながるものと期待しています。

また、9月は防災の月です。本校でも8月末から9月当初にかけて、避難所開設会議や避難訓練を実施しました。今夏の熊本地震や千葉豪雨の教訓からも、想定外の事態に「備える」ことは、命を守るための絶対的な義務です。本校でも、防災教育の重要性を改めて深く受け止め、命を守る行動について指導を重ねてまいります。被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧・復興を願いつつ、私たちも今ある日常に感謝し、一日一日を大切に過ごしていきたいと思っております。

一方で、この「備える」という姿勢は、防災に限らず、学校生活にも通じる大切な姿勢だと思います。部活動の新人戦に向けた練習や、進路実現に向けた日々の学習も、すべて「未来への備え」です。一般的に「備える」という言葉は、予測できない災害やリスク等の軽減に向けた「守り」の意味合いが強い言葉ですが、学校生活でも、「どんな困難な状況(リスク)にも対応できるように実力を蓄えておく」という捉え方が可能です。先を見据え、万が一の時に機能するように、今自分にできることを積み重ねる。2学期に控える体育祭や合唱コンクールなどの行事も、仲間と力を合わせて力を伸ばす絶好の機会となります。生徒たちには、何事に対しても一歩先を見据えた「備え」の意識を大事にするよう伝えてまいります。

最後となりますが、保護者・地域の皆様におかれましては、1学期に引き続き、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。秋の深まりとともに開催される各行事では、ぜひ学校に足をお運びいただき、生徒たちが仲間とともに全力で取り組む姿をご覧いただければ幸いです。教職員一同、皆様のご来校を心よりお待ちしております。